

特集 大洋州

島国の力

真つ青な空の下、一面に広がる透き通った海。そんなイメージに魅せられ、日本からも多くの観光客が訪れる大洋州。しかし、実際は美しいことばかりではない。多くの国が直面している「島」特有の課題の数々。同じ島国として日本ができることは何だろうか。

編集協力：小林泉 大阪学院大学国際学部教授／一般社団法人太平洋協合理事長

楽園ではない 島国の現実

待ちに待った長期休暇。海外旅行したいけど、どうやって行き先を選ぼう。日本とは違う文化を体験してみたい、おいしいものが

食べたい、珍しい遺跡が見たい……。人によって、優先すべきことは違うはずだ。

その中でも、「毎日仕事に追われているから、休みくらいはのんびりしたい」という人は少なくないはず。そこでびつたりなのがリゾート。特に日本から比較的近く、人気が高いのが「大洋州」の国々だ。

赤道を挟んで広がる大洋州は、一番面積の大きいパプアニューギニアでこそ日本の約1・25倍の面積があるものの、多くが一都道府県にも満たない小さな国だ。豊かな自然と多様な伝統文化が息づく楽園。そんなイメージを抱く人も多いかもしれない。しかし現実には、決して「楽園」とはいえない課題が山積みなのだ。

まず一つが、人口が少なく、国土が狭いこと。市場の規模が小さく、大きな産業が発展しにくい。さらに、大小複数の島から成り、国土が分散していることも特徴。ソロモン諸島においては約10000、その他の国の多くが数十から数百もの小さな島の集合体だ。電気、水道、教育、保健医療などのサービスを離島に暮らす全ての人に届けることは容易ではない。

島国の課題は、そんな地理的な理由によるものだけではない。近年のライフスタイルの変化だ。独

立から30年以上がたち、他国からの輸入品が増加。これまでなかったプラスチックなどのごみが増えているものの、最終処分場が十分に整備されていないため、ごみの処理能力が限界に達しているのだ。

島国の日本ができること

そして、多くの観光客が魅せられている「海」が、時に大きな弊害となることも。「広大な海洋面積は国の貴重な資源ですが、それを適切に管理できなければ自然環境の影響を直接的に受けることになり、さらなるぜい弱性につながってしまいます」と大阪学院大学の小林泉教授は話す。国土を海に囲まれた島国は、自然災害の影響を受けやすい。長年にわたる植民地支配を経て、1970年代以降に独立を果たした大洋州の国々。今もなお海外からの援助に頼っている国が多く、政治的・経済的にもまだまだ弱い。

言わずもがな、日本も同じ島国。まさに今、大洋州の国々が直面している課題に対して、長年試行錯誤しながら取り組みを続けてきた。そこで得た知見を生かした国際協力には日本ならではの強み。これまで、気候変動対策、廃棄物管理、海洋資源管理、インフラ整備などを中心に協力を展開してきた。また、島で暮らす人たちの生命線となるエネルギー開発や防災対策も、今後さらに力を入れていきたい分野だ。

そして、日本と太平洋の絆を強化するために、1997年から3年ごとに「太平洋・島サミット」が開催されている。この地域が直



	バヌアツ
首都: ポートビラ	
面積: 1万2,190km ²	
人口: 25万2,800人 (2013)	
言語: ビシュラマ語、英語、フランス語	
通貨: バツ	
GNI/人: 3,130米ドル (2013)	

	パプアニューギニア
首都: ポートモレスビー	
面積: 46万2,000km ²	
人口: 732万1,000人 (2013)	
言語: 英語、ピジン英語、モツ語	
通貨: キナ、トヤ	
GNI/人: 2,010米ドル (2013)	

	ニウエ
首都: アロフィ	
面積: 259km ²	
人口: 1,611人 (2011)	
言語: ニウエ語、英語	
通貨: ニュージーランド・ドル	
GNI/人: 不詳	

	パラオ
首都: マルキョク	
面積: 488km ²	
人口: 2万920人 (2013)	
言語: パラオ語、英語	
通貨: 米ドル	
GNI/人: 10,970米ドル (2013)	

	ミクロネシア連邦
首都: パリキール	
面積: 700km ²	
人口: 10万3,500人 (2013)	
言語: 英語、現地の8言語	
通貨: 米ドル	
GNI/人: 3,280米ドル (2013)	

	マーシャル諸島
首都: マジュロ	
面積: 180km ²	
人口: 5万2,630人 (2013)	
言語: マーシャル語、英語	
通貨: 米ドル	
GNI/人: 4,310米ドル (2013)	

	フィジー
首都: スバ	
面積: 1万8,270km ²	
人口: 88万1,100人 (2013)	
言語: 英語、フィジー語、ヒンディー語	
通貨: フィジー・ドル	
GNI/人: 4,370米ドル (2013)	

	ソロモン諸島
首都: ホニアラ	
面積: 2万8,900km ²	
人口: 56万1,200人 (2013)	
言語: 英語、ピジン英語	
通貨: ソロモン・ドル	
GNI/人: 1,600米ドル (2013)	

	ツバル
首都: フナフチ	
面積: 25.9km ²	
人口: 9,876人 (2013)	
言語: 英語、ツバル語	
通貨: オーストラリア・ドル	
GNI/人: 5,840米ドル (2013)	

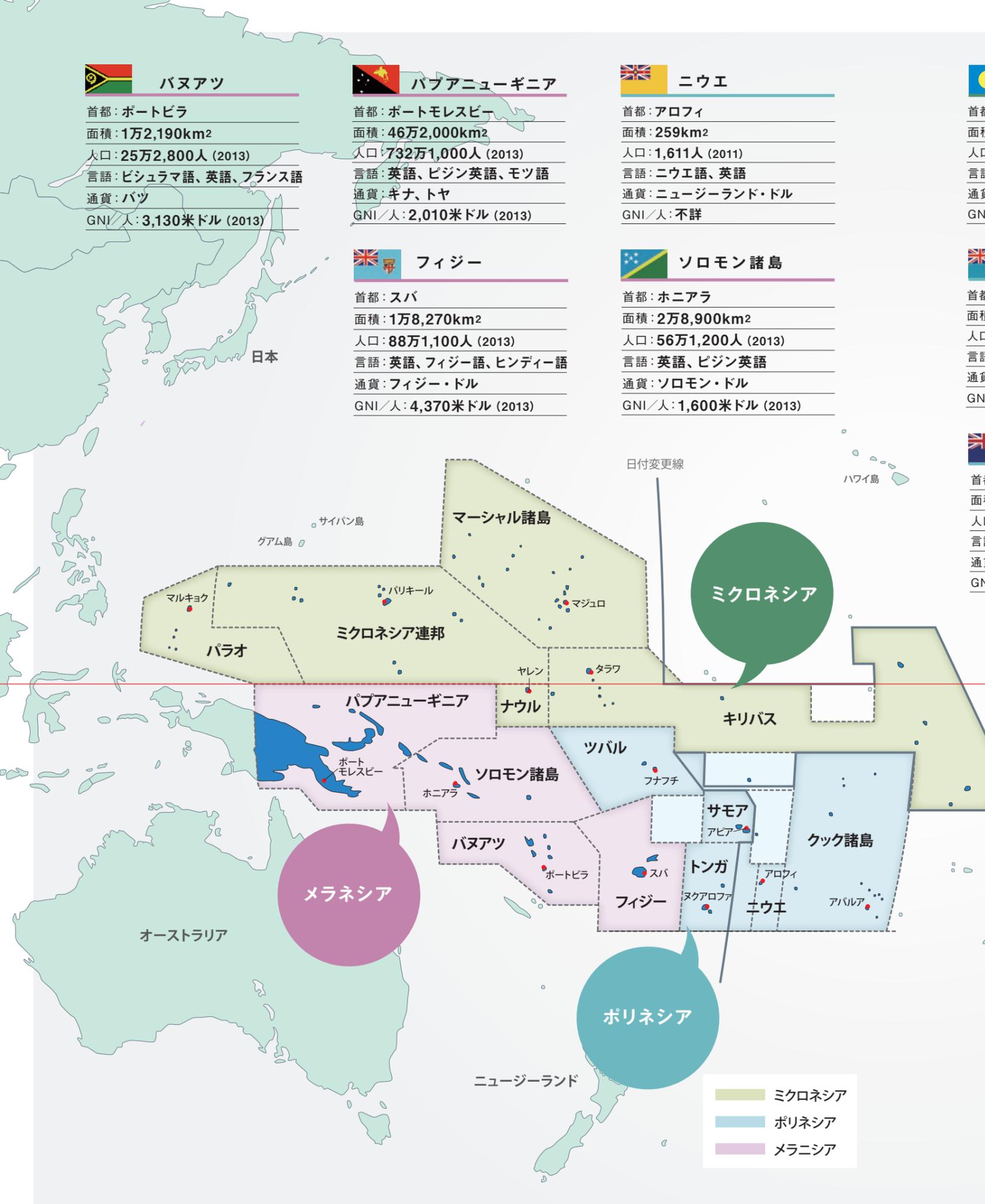
	ナウル
首都: ヤレン	
面積: 21.1km ²	
人口: 約1万人 (2012)	
言語: 英語、ナウル語	
通貨: オーストラリア・ドル	
GNI/人: 12,577米ドル (2012)	

	キリバス
首都: タラフ	
面積: 730km ²	
人口: 10万2,400人 (2013)	
言語: キリバス語、英語	
通貨: オーストラリア・ドル	
GNI/人: 2,620米ドル (2013)	

	クック諸島
首都: アバルア	
面積: 237km ²	
人口: 1万3,900人 (2013)	
言語: クック諸島マオリ語、英語	
通貨: ニュージーランド・ドル	
GNI/人: 不詳	

	サモア
首都: アピア	
面積: 2,830km ²	
人口: 19万400人 (2013)	
言語: サモア語、英語	
通貨: サモア・タラ	
GNI/人: 3,970米ドル (2013)	

	トンガ
首都: ヌクアロファ	
面積: 720km ²	
人口: 10万5,300人 (2013)	
言語: トンガ語、英語	
通貨: パ・アンガ	
GNI/人: 4,490米ドル (2013)	



サミットの開催を通じて 新たな絆を築く

いわき市長
清水 敏男

2015年5月22～23日、福島県いわき市で「第7回太平洋・島サミット」が行われます。福島県で初めて開催される首脳級の国際会議の開催地となったことは、大変名誉なことです。

私たちは東日本大震災の前から、「第7回太平洋・島サミット」の誘致を目指してきました。いわき市は、これまで島しょ国の舞踊団などを招いての「太平洋諸国舞踊祭」の開催や、アクアマリンふくしまとパラオ国際サンゴ礁センターとの友好館協定締結など、大洋州の国々と交流があり、港湾整備を学ぶ研修員を受け入れたこともあります。

その大洋州の発展を目指した国際会議を開催することは、大変意義のあることであり、市の知名度向上、観光交流人口の増大、国際化の一層の進展を目指す良いきっかけにもなると考えました。また、太平洋に面しており、東日本大震災による津波被害を受けた市の沿岸部と、海面上昇で浸水被害を受けている島しょ国と共有できる経験や課題も多くあると確信しています。

現在、官民一体となって組織した「実行委員会」や、地元の高校生による「サミット応援隊」を中心に市民が一丸となって機運を盛り上げています。今後の観光交流にもつなげられるよう積極的に取り組み、いわき市の元気を日本全国、そして世界に発信し、復興を加速したいと考えております。



特集 大洋州 島国の力

面するさまざまな課題について首脳レベルで意見交換を行うことで、より緊密な協力関係の構築を目指している。今年5月には、福島県いわき市で「第7回太平洋・島サミット」が行われる予定だ。

「大洋州と歴史的なつながりがあり、長年協力を続けてきた日本は、大洋州ではかなりプレゼンスがあります。しかしこれからは、大洋州と新たな関係づくりを目指す時に来ていると感じます」と小林教授。個別の分野の協力に加え、こ

れから大洋州の国々が域内でのように連帯を深め、一地域として発展を目指していくか。大洋州に最も近い先進国の一つとして、先を見据えた大きなビジョンで、日本がイニシアチブを執ることが求められている。

大洋州のどこかの国に足を運ぶ機会があったら、楽園ではなく、現地の人たちが直面している課題にも少し目を向けてほしい。きっと、ただの観光では分からない。その国の素顔が見えてくるはずだ。